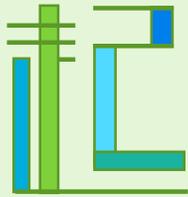
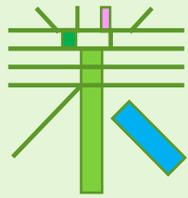


『Research Studio』パイロットセミナー

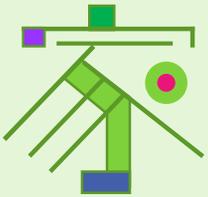


主催：
つくば臨床医学研究開発機構(T-CReDO)

共催：
筑波大学附属病院
筑波大学国際産学連携本部



対象：
つくば地区を中心とする若手研究者・大学院生、
起業に興味ある研究者等、教職員



受講無料
資料の準備上
事前参加登録にご協力をお願いします

日時

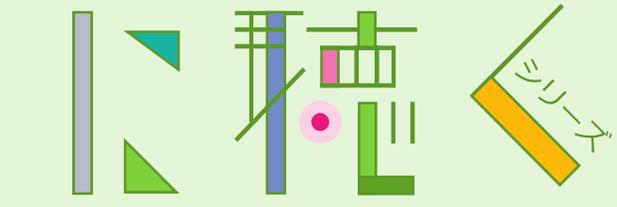
2016.
10.6 (木) | 10.14 (金) | 10.26 (水)
18:15 ▶ 20:40

会場

各日とも
筑波大学医学地区 臨床講義室C
つくば市天久保2-1-1

お申込

下記URLまたはQRコードから
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScGgMGtIVnyOCe8LcdhJG7D_MxWto0qGGwZXRfJzUoLWvafQ/viewform



第1回 10.6 木

難病治療を目指す
医薬品開発ベンチャー

第2回 10.14 金

医師が始めた
細胞医療ベンチャー、
医療機器開発VC

第3回 10.26 水

医療イノベーションへの
あくなき挑戦

18:15
「経営と教育の日米比較」

ナノキャリア株式会社 代表取締役社長
中富 一郎氏

19:10
「ペントサンを第二の
アスピリンに
-夢を追い求めて-」

株式会社レクメド 代表取締役社長
松本 正氏

20:10
パネルディスカッション

中富一郎, 松本正, 荒川義弘
(筑波大学T-CReDO機構長)

20:40

18:15
「ビジネスモデル構築と
ビジネスの拡大・加速
~免疫療法の事業化を事例に~」

テラ株式会社 代表取締役社長
矢崎 雄一郎氏

19:10
「僻地医療からシリコンバレーへ!
日本を飛び出し16年、今だから
言える若き皆様へのアドバイス」

Program Director (U.S.) Japan Biodesign
Stanford Biodesign
池野 文昭氏

20:10
パネルディスカッション

矢崎雄一郎, 池野文昭, 荒川義弘

20:40

18:15
「目標は、進行癌完治」

株式会社キャンパス 代表取締役社長
河邊 拓己氏

19:10
「人工知能を利用した
健康社会の実現」

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
シニアリサーチャー
桜田 一洋氏

20:10
パネルディスカッション

河邊拓己, 桜田一洋, 松本正, 荒川義弘

20:40

『Research Studio』とパイロットセミナー「起業家に聴く」シリーズについて

つくばを始め日本には多くの官民の研究所・研究者と大学、病院が質の高い研究を進めており、医療分野のイノベーションの基盤があります。T-CReDOはつくばを中心にその出口戦略を支援する組織として設立し整備を進めています。しかし、研究者のうち、出口戦略を見据えて研究を推進している研究者は必ずしも多くはありません。

そこで、出口戦略を見据えて研究を推進する若手研究者の育成プログラム（本Research Studio）やシニア研究者に対する人材育成プログラムの整備が必要となっています。これらの人材育成プログラムと臨床研究支援体制が両輪となり、持続可能なイノベーションエコシステムの確立が可能となると考えられます。

T-CReDOでは、このつくばの特性を活かして若手研究者に対する医療分野のアントレプレナーシップ教育プログラム「Research Studio」を構築すべく、作業部会を置いて検討を進めています。

（T-CReDOの研究者・専門職生涯教育について：<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/t-credo/tr/kenkyusya.html>）

2016年度は、そのパイロットプログラムとして、公開講座「起業家に聴く」を3回にわたって開催し、実際に医療ベンチャーの起業の経験者に、起業における方策・秘訣・苦労話等体験談を語っていただき、彼らの情熱と知恵を若手研究者に感じ取っていただきたく、本セミナーを企画しました。

筑波大学つくば臨床医学研究開発機構長

荒川 義弘

講師プロフィール（講演順・敬称略）

中富 一郎（なかとみ いちろう）

ナノキャリア株式会社 代表取締役社長

1978年 久光製薬(株)入社、1991年 米国セラテック社ビジネス開発副社長

1993年 同社日本支社代表取締役兼務、1996年 当社設立 代表取締役社長に就任

iPSアカデミアジャパン及びiPSポータルの社外取締役を務めた他、日本ライセンス協会会長や、内閣府「検証・評価・企画委員会」や厚労省「医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会」の委員を務めるなど知財関連等の活動も積極的に行っている。

松本 正（まつもと ただし）

株式会社レクメド 代表取締役社長

1981年に薬学博士（東京大学）、1992年に経営学修士（筑波大学）を取得。

1981年に協和発酵工業（現：協和発酵キリン）に入社し、医薬品の研究、開発、企画管理まで幅広い分野に従事し、途中米国NIHにて共同研究を主導した。

1998年にレクメドを起業し、オープンイノベーションを基軸にした研究・開発を実践し、2014年には、希少疾病薬を上市した。また、2000年に本邦初のバイオに特化したファンドを立ち上げ、国内外のバイオベンチャーの育成に貢献した。

矢崎 雄一郎（やざき ゆういちろう）

テラ株式会社 代表取締役社長

1996年 東海大学附属病院勤務。2000年バイオベンチャー企業入社。2003年 東京大学医科学研究所 細胞プロセッシング寄付研究部門に研究院として所属。2004年 樹上細胞ワクチン療法をはじめとしたがん免疫療法の研究開発および技術支援を行うテラ株式会社を設立し、代表取締役社長に就任（現任）。2009年ジャストック上場。現在、大学病院をはじめとした全国39の契約医療機関へノウハウ提供を行っている。

著書に『免疫力をあなどるな！』（サンマーク出版）

池野 文昭（いけの ふみあき）

Program Director (U.S.) Japan Biodesign, Stanford Biodesign

9年間の日本での僻地医療を含む地域医療の後、2001年より、米国Stanford大学に研究留学。シリコンバレーの医療機器企業とともに前臨床試験に従事する。その傍ら、医療機器関連の起業家を育てるプログラム、Stanford biodesignのAdvisory Facultyをつとめる。2013年、日本発の医療機器に特化したベンチャーキャピタル（MedVenture Partners）を起業し、現在、日米を頻回に行き来し、太平洋を挟んだ医療機器エコシステム構築に尽力している。

河邊 拓己（かわべ たくみ）

株式会社キャンバス 代表取締役社長

高校時代倒癌を誓い基礎医学を志す。'83京大医卒。-'86京大・国立京都研修医。癌克服に立ち会うべく基礎へ。

-'90京大大学院。-'91京大助手。'91-'96ワシントン大学ポスドク（スタンレー・コールスマイヤー教授）細胞周期G2チェックポイントに着目。

-'01名市大助手・助教授。G2阻害に成功。

'01- キャンバス 未だ癌克服に届かず奮闘中。直近免疫系との再会により倒癌の道が見えたと思っている。

桜田 一洋（さくらだ かずひろ）

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー

88年大阪大学理学部修士課程を修了。93年理学博士授与。95年に再生医療の研究開発をスタート。

08年1月にバイエル薬品で開発したヒトiPS細胞技術をベースにシリコンバレーでベンチャーを設立。

08年9月からソニーコンピュータサイエンス研究所で個別医療の実現を目指し医療データを人工知能で解析するための研究に着手。この成果に基づき本年から理化学研究所で医科学イノベーションハブの副プログラムディレクターを務めるとともに、健康社会を実現のためのベンチャー、ミルケアを設立。